

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (釜谷正博)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業 種目	急傾斜地崩 壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 1.0 億円
		急傾斜地崩壊対策事 業 < 鼓が滝(2)地区 >	川西市 鼓が滝		

所在地			着工予定年度	完成予定年度
川西市 鼓が滝			H13年度	H14年度

事業目的		事業内容	
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危 険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の 生命を保護する。		急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 特殊法砕工 L = 130m A = 2400m ²	

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地崩壊危険箇所である。 保全人家19戸、市道(迂回路なし)がある。 平成11年6月の豪雨により斜面崩壊が発生し、人家・自動車等 が被災し、応急対策工事が行われるなど、大変危険な状態である。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 斜面は閑静な住宅地に接しており、貴重な自然空間となっている ため、保全する必要がある。 斜面下部には住宅地が広がり、斜面の緑は住宅地の美しい自然景 観を構成するものであり、保全する効果が高い。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 平成11年に、崩壊による災害があったため、住民の不安は大変 大きく要望が強い。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象が多く、事業効果は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に向けた、地元要望がある。 法指定及び土地の借地・使用の同意は得ており、事業執行体制は 整っている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 法砕工を採用し既存の立木は極力残す。 法砕内は種子吹き付けを行い緑化を図る。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象が19戸と多く、事業効果は大変高い。 平成11年6月に災害が発生した箇所であり、斜面には現在も仮 設の法面保護対策が行われており、早急な防災対策が必要である。 この度、地元の合意形成が図られ事業執行環境が整ったので、事 業に着手する。
評 価 の 結 果	着手妥当 左 の 理 由 審査の結果、事業着手が妥当と認められた。